

くにみ 議会だより

No.190
9月議会号



ダンス、うまくおどれたよ！

くにみ幼稚園の運動会が10月2日に開催されました。
ポンポンを持った園児たちが元気にダンスを踊りました。

9月定例会

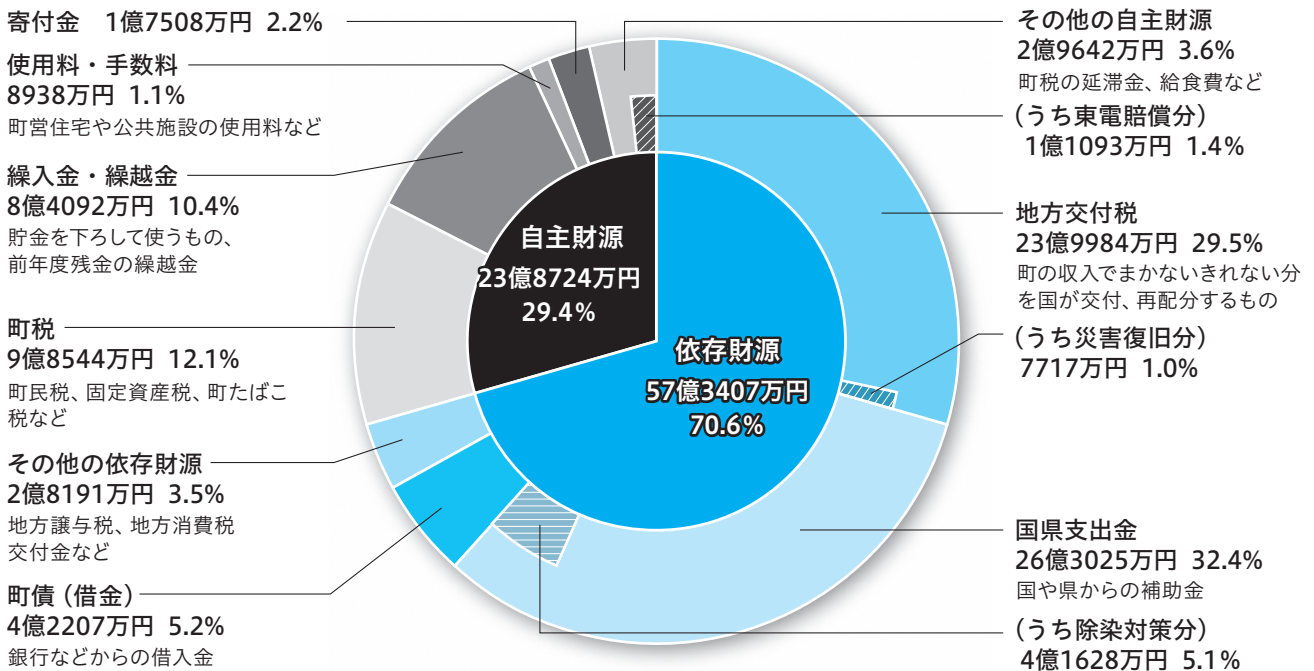
道の駅と中心市街地を結ぶ町道
116号完成(令和2年度決算を認定) — P2

こんなことがありました(令和2年度のおもな事業) — P4
新型コロナウイルスワクチン接種事業費を増額
(令和3年度補正予算) — P8
一般質問(通学路の安全点検と
安全対策について等8人が登壇) — P11
議会行政調査(桑折町・川俣町) — P20

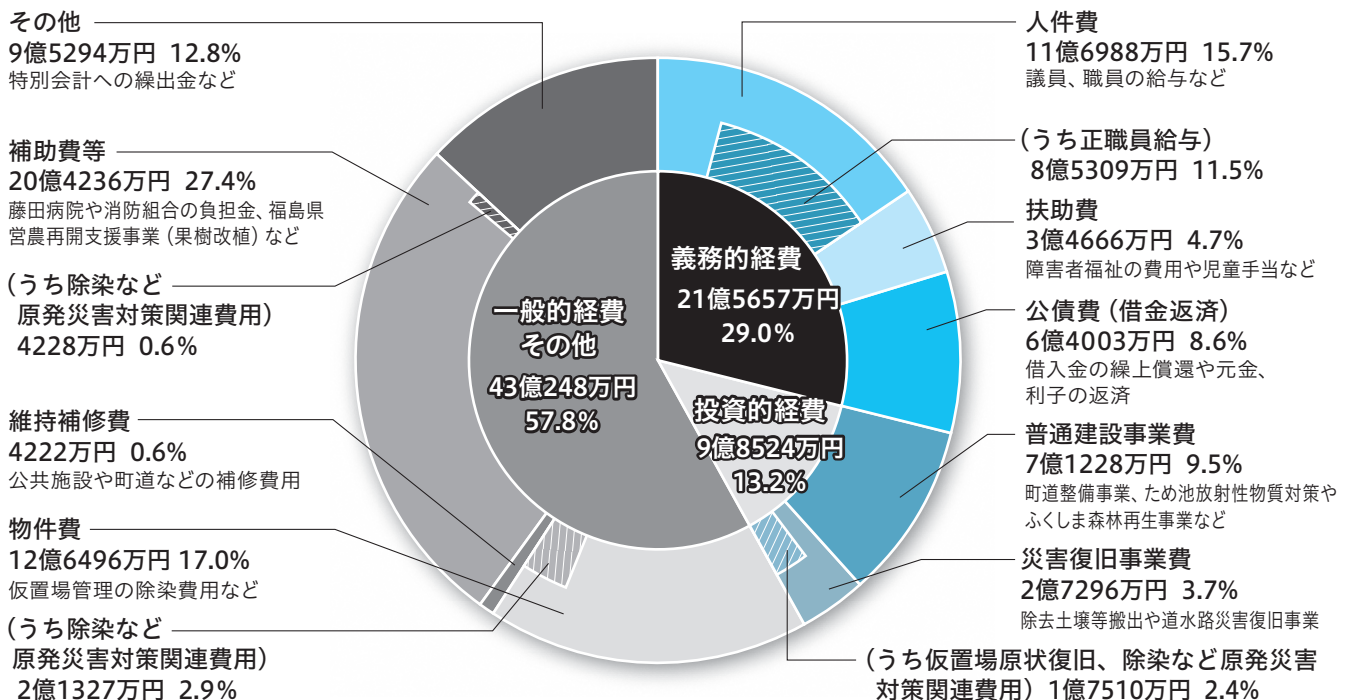
市街地を結ぶ町道116号完成

令和2年度 一般会計歳出74億4429万円

歳入 81億2131万円



歳出 74億4429万円



道の駅と中心



ドローンでみた町道116号

9月議会定例会は9月7日から17日まで11日間の会期で開かれました。

今定例会には、令和2年度決算認定や、ふるさと納税の寄付見込み増により積立金を増額する補正予算など30議案が提出され、すべて原案どおり認定、可決、承認、同意としました。

一般質問では8人の議員が登壇し、12項目にわたって町政をただしました。

一般会計決算

令和2年度一般会計決算額は、歳入総額が81億2131万円（前年比19・2%増）、歳出総額が74億4429万円（前年比23・2%増）となり、翌年度に繰越す事業の財源を差し引いた実質収支額は5億9706万円（前年比18・1%減）の黒字決算となりました。

おもな事業は、除染対策（ため池放射線物質対策、仮置場の原状復旧工事）の推進や、町道116号整備事業、プレミアム商品券事業などが挙げられます。今後

後も定住化促進事業など主要事業が控えているため、さらなる財源確保と歳出削減などに取り組み、安定した財政運営に努めなければなりません。

自主財源の中心となる町税は前年比880万円減となりました。依存財源である国庫支出金は特別定額給付金補助金の増などにより、前年比10億2124万円増となりました。

歳入

自主財源の中心となる町税は前年比880万円減となりました。依存財源である国庫支出金は特別定額給付金補助金の増などにより、前年比10億2124万円増となりました。

歳出

義務的経費（人件費など）は前年比1億1450万円の増、一般的経費（物件費など）は12億2188万円増、投資的経費（災害復旧費など）は1億30万円減、その他の経費（積立金など）は1億6797万円増となりました。

■ 主な基金年度末現在高

基金	令和2年度	令和元年度
財政調整基金	7億9490万円	7億5424万円
ふるさと振興基金	2億1280万円	1億1245万円
復興基金(平成26年度新設)	1億5484万円	1億480万円
公共施設整備基金	1億6021万円	1億1016万円

■ 令和2年度特別会計決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額
公共下水道事業	2億6978万円	2億6540万円
後期高齢者医療	1億4230万円	1億4162万円
国民健康保険	11億5066万円	11億2310万円
介護保険	14億1060万円	13億6421万円
土地開発事業	3078万円	3070万円
湧水対策施設	1074万円	1065万円
大木戸財産区	18万円	10万円
入山財産区	22万円	13万円

■ 令和2年度水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億5581万円	2億4292万円
資本的収支	1995万円	1億558万円

資本的収支の不足分は過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんしました。

■ 町債(借金)年度末現在高

会計名	令和2年度	令和元年度
一般会計	58億1868万円	60億41万円
下水道	13億9684万円	14億4491万円
合計	72億1552万円	74億4532万円

ありました

したおもな事業

ふるさと納税委託事業



ふるさと納税を通して、町の特産品および魅力を全国に発信しました。返礼品の実績は、農産物が9,042件、菓子等の特産品が973件でした。

国見ホイスコーレ事業 (若者を中心とした学びの場)



古民家などで、町外者と町内者との交流を目的としたイベントを企画・実践し、若者による地域活性化を図りました。

まちづくり推進事業



イルミネーション・ビッグツリーや小坂まちづくりや大木戸歴史むらづくりなどの地域コミュニティ育成を行いました。

貝田地区県営ほ場整備事業



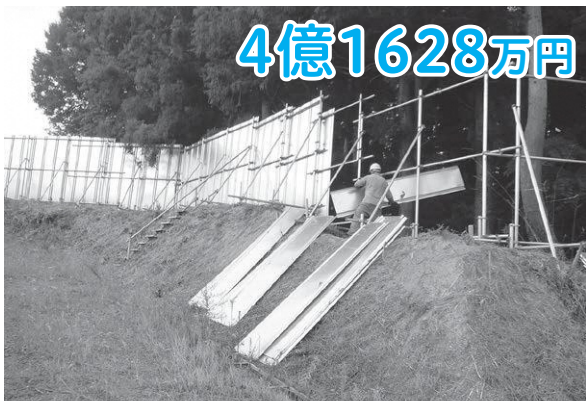
農業の生産性を高めるため農業生産基盤の整備を行い、換地業務も完了としました。

公共土木施設・農業施設 災害復旧事業



台風19号により被災した家屋の解体や、廃棄物処理、田畑の土砂撤去などを行いました。

仮置場の原状回復



除去土壌等の搬出が終了した仮置場の原状回復工事を行いました。

こんなことが

令和2年度に実施

プレミアム商品券事業



地域経済の早期回復に向け、プレミア率50%の商品券の販売を行いました。

地方創生推進事業 (地域プロモーション)



町産りんご、桃を使用した防災ゼリーを開発製造し、読売巨人軍や有名デザイナーとのタイアップによりプロモーションを行いました。

町道116号線整備事業



道の駅と中心市街地を結ぶアクセス道路の整備が完成しました。

地域公共交通支援事業 (デマンド実証実験)



地域公共交通のあり方を検討するため、公立藤田総合病院までの送迎を行うデマンド実証実験を行いました。

令和2年度決算認定

令和2年度各会計決算認定は、一般会計を賛成多数、各特別会計を全員賛成で原案のとおり認定しました。主な質疑は次のとおりです。

質疑

一般会計

農業ビジネス訓練所の運営は適正か

(渡辺勝弘議員)

問 農業ビジネス訓練所での成果は。また、就農している者の定着率は。

産業振興課 長 当町の基幹産業が農業であり、これからの担い手をどのように育成するのが大きなテーマである。昨年の農産物の収入は約650万円となり、道の駅で約200万円、中央青果卸売市場で約450万円となった。また現在の長期研修生は6

名全員町外者であるが当町での就農希望者もいる。

行政執行の在り方とは

問

(佐藤定男議員)

実質収支が5億9700万円とあり行政としては大きい金額であるが、行政執行の在り方を問う。

総務課 長 コロナの影響で年度へ繰り越した事業や翌業がある。2月の地震における予算の担保も必要となる。硬直的でなく弾力的な

予算編成とし、余った財源は議会と相談しながら新しい使い道を決めていく。

都市再生事業の使い道は適正か

問

(浅野富男議員)

都市再生事業の使い道が町道116号と歴史的建造物や公園整備事業等との関連性が不明確であるが。

建設課 長 都市再生事業ということで進めている。歴史・まちづくりに関する総合的なまちづくりの事業として、歴史公園の整備と町道116号線の整備を実施した。

予算と決算について

問

(蒲倉 孝議員)

予算と決算はどのようにリンクするのか。

総務課 長 予算は次年度の事業指針だが、決算は事業執行の成果であり、その差は情勢に適応した予算の執行が行われた結果であると考えている。

プレミアム商品券の支援事業の成果は

問

(大戸武志議員)

プレミアム商品券を地元商店に限定しなかった理由は。

産業振興課 長 当町全体の活性化を目的として実施した。町内にある大規模店舗も町に納税や雇用の創出をいただいている。また中小企業には町独自のコロナ関連補助金を交付していることもありご理解いただきたい。

多面的機能支払い交付事業は

問

(村上 一議員)

多面的機能支払い交付金事業は現在9団体で取り組んでいるが高齢化が進み運営が難しくなっているのではないかと。

産業振興課 長 組織としては現地での農地管理と事務作業が発生する。農地管理で課題があれば町でも相談にのる。事務については今年度から一部、伊達西根堰土地改良区に委託し軽減を図っている。

木育広場つなぐるむの利用のあり方は

問

(山崎健吉議員)

道の駅開業からの利用状況は約8万2000人、そのうち町内者の利用率は約4%である。当町にはもまたん広場もあるため統合してはどうか。

まちづくりアドバイザーとは

問

(松浦常雄議員)

官民連携リノベーションによるまちづくりアドバイザーとは。

企画調整課 長 町の施設、町の施設を今後どのように活用していくか等の民間を活用した手法についてアドバイザー。

決算審査報告

代表監査委員 佐藤 徳正 / 監査委員 小林 聖治

各会計の決算書が関係法令に準拠しているか、財政運営が適正かを主眼として審査をしました。

その結果、総括的には、各会計とも黒字を維持しており、計画的な財政執行による収支の均衡と健全な財政運営が行われていました。

また、健全化判断比率、資金不足比率審査は、その算定と基礎となる書類が適正に作成されているかを主眼として実施しました。

その結果、いずれも適正に行われていました。

健全化判断比率については、実質公債費比率4.3%であり、早期健全化基準である25%を下回っています。また将来負担比率は23.0%で、基準の350%を下回っているため、良好な状態です。

公営企業の経営状況は、水道事業会計、下水道事業特別会計、土地開発事業特別会計のいずれも資金不足はありませんでした。(抜粋)



適正な財政運営であったことを報告する佐藤徳正代表監査委員

教育長

つながるくむはお母さん方の相談の場や育児支援を目的としており、ももたん広場とは目的が違う。また、道

の駅を訪れた方々への定住促進PRの施設としての意義もあるためご理解いただきたい。

超過勤務の解決策は

問

(八島博正議員) 監査の指摘について、超過勤務が月100時間を超える職員が23人もおり健康面で問題であるため解決策は。また、決算審査意見書で議会の承認を得た数字を確定後に変更する場合は再度議会にかけるべきと考えるが。

総務課長 超過勤務は、コロナ対策や臨時交付金事業、2月の地震対応が特に多かった。現在は落ち着いている。また、決算書の変更は今後このようなことがないようにする。

討論

反対討論

給食費値上げのこと。また、町道116号整備事業は急を要したのではなく、まちづくりへの効果は低い。住民要望の大きい箇所から進めるべきであった。

賛成討論

道の駅や町の中心地へのアクセスが良くなくなり、市民の利便さ、福祉面に大きく資するものがあると考えます。

後期高齢者の対応は

後期高齢者医療特別会計

問

(浅野富男議員) 保険料は昨年より1千万円ほど増加している

このまま増え続けると過大な負担となるのでは。

ほけん

課長 団塊世代が後期高齢者となっていくので、国において医療費の圧縮策や社会保障費の公費負担が今後議論されていくものと期待している。

議案審議結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されています。

議員名	議決結果	蒲倉 孝	八巻 喜治郎	宍戸 武志	山崎 健吉	小林 聖治	村上 一	佐藤 定男	渡辺 勝弘	松浦 常雄	浅野 富男	八島 博正
議案等	認定第1号 令和2年度国見町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

○：賛成 ●：反対 □：討論者 ※議長(東海林一樹)は採決に加わらない。

新型コロナウイルスワクチン 接種事業費を増額

令和3年度補正予算のうち、一般会計(第4号)は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億8273万円を追加し、予算総額62億5350万円とすることを全員賛成で可決しました。

主な歳出は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、公共土木施設災害復旧費などです。

質疑

ふるさと応援寄付金
増の根拠は

問 (八島博正議員)
寄付金が3000万円
の補正増となっている
が、根拠は何か。

総務課長 町が委託している
取扱会社のトップ
ページに当町のモモが使わ

れたということもあり、昨年が1億6000万円程度だったが、今年は2億円近くまでいくと見込まれたため計上している。

問 (浅野富男議員)
小・中学校の校庭
にあるトイレの解体に至る
までの経過は。

教育次長 小学校について
は、校庭の東側にあ
るトイレで、以前いたずら
されたことや、子どもたち
が現在使用していないため
撤去したい。また中学校に
ついては、体育館の東側に
あるトイレで、老朽化がひ
どく危険な状況から撤去を
進めたい。

歴史まちづくり
推進費の内容は

問 (松浦常雄議員)
歴史まちづくり推
進費の情報発信業務委託の
内容は。

企画調整課長 町の歴史及び
特産物等の情報
を様々な媒体を使って、県

消防施設工事の
内容は

問 (小林聖治議員)
防火水槽設置工事
880万円、消火栓等設置
工事120万円とあるが、
それぞれの箇所数と設置場
所は。

住民防災課長 防火水槽は1
基で、設置場所

令和3年度一般会計 補正予算(第4号)の主な内容

【主な事業】

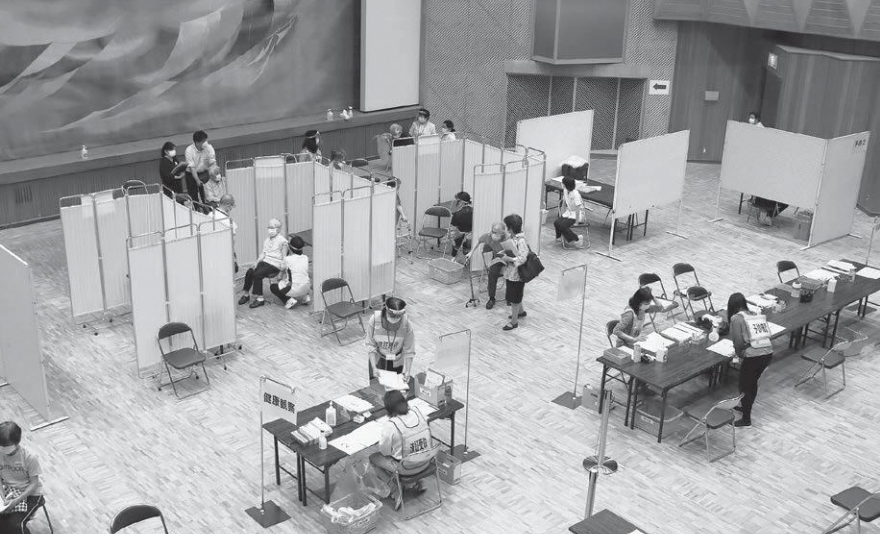
・ふるさと納税寄付事業	3000万円
・歴史まちづくり推進費	300万円
・介護施設感染拡大防止環境整備事業補助金	2950万円
・新型コロナウイルスワクチン接種事業	1045万円
・町道維持修繕工事費	1000万円
・防火水槽・消火栓等設置工事費	1000万円
・国見小・県北中校庭トイレ解体撤去工事費	228万円
・公共土木施設災害復旧費	4870万円
・その他	3880万円
計	1億8273万円

【主な財源】

・国県からの補助金	6597万円
・地方債	3055万円
・その他(前年度繰越金・特別会計繰入など)	4190万円
・一般財源(町税・地方交付税など)	4431万円
計	1億8273万円

内外の方に発信する事業である。

は、今後消防団幹部会議の中で決定していく。
消火栓等設置工事も1基であり、貝田地内で漏水があったことから付け替えをする工事である。



▲新型コロナウイルスワクチン接種会場のようす

子どもたちへのマスクの無償配布は

問

(八島博正議員)

福島市は、小・中

学生にマスクの無償配布を行った。今回の補正予算を見るとそのような内容は無いが、子どもたちのクラスターを防ぐためにも配布してはどうか。

教育長

現状では、マ

スクの無償配布

は考えてはいなかったが、感染状況等を見ながら検討していく。

条例改正

個人番号カードの再交付手数料の無料化

国見町手数料徴収条例の一部を改正する条例

(要旨) 個人番号カードの再交付の手数料1件につき800円を無料化する。(全員賛成で可決)

一般議案

国見ニュータウンに定住化促進住宅を整備

財産の無償貸付

(要旨) 町有地を定住化促進住宅事業用地として無償貸付し、業者が住宅を建設し居住環境を整えることで、町外からの若い世代等の移住定住を図る。(全員賛成で可決)

問

(渡辺勝弘議員)

30年後、返還となった後はどうなるのか。

企画調整課長

町が譲り受け、町営住宅として利用する。

問

(山崎健吉議員)

入居率100%にならなかった場合はどう考えているのか。

企画調整課長

入居率が90%から83%でも町として十分に事業が成立すると見込んだ上で取り組んでいる。

問

(佐藤定男議員)

無償貸付の目的として、町外だけでなく、町内の若い世代についても、入居は可能なのか。

企画調整課長

現在のところ、町外者をメインとして賃貸契約を結びたいと考えている。

文化センター 災害復旧工事

工事請負契約の締結

問

(渡辺勝弘議員)

観月台文化センター災害復旧工事の内容は。

生涯学習課長

福島県沖地震で、観月台文化センターのシンボルタワーと正面入り口前のスロープに立つ柱を補強する工事である。(全員賛成で可決)

問

(八島博正議員)

今回の定住化促進住宅建設事業について、町有地の無償貸付の期間を30年とした理由は。

企画調整課長

30年間の期間で貸付することにより、町、出資者ともに負担が少なく定住化促進住宅事業を進めることができるためである。

問

(村上 一議員)

この住宅には、町外の子育て世代を入れるということだが、今からでも募集する必要があるのではないか。

企画調整課長

住宅は来年3月には完成となるため、来年1月には募集を始める予定である。その際は、あらゆる手段をもって募集をかけたいと考えている。

町長の行政報告（抜粋）

■福島県沖地震

- ・家屋などの解体は、国の災害査定が終了し、公費解体66件、費用償還10件の申請を受理した。
- ・公共施設では、観月台文化センターエレベーター工事が間もなく完了。今後展望タワーの復旧工事を行う。

■新型コロナウイルス感染症対策

- ・県の非常事態宣言を受け町独自の緊急対策として、観月台文化センター、上野台運動公園、各地区中央集会施設の午後8時以降の利用停止や、くにみもたん広場、こども木育広場つながる～むを臨時休業とした。
- ・ワクチン接種は、7月末までに希望する高齢者に接種を完了した。65歳未満の町民のワクチンが不足しており、予約受付を調整して対応している状況。ワクチンの安定的な配分を、国、県に強く要望していく。

■凍霜害対策

- ・JAふくしま未来のモモ出荷量は、例年比で2割減に留まった。引き続き、実効性のある対策を進める。

■健やかに暮らせるまちづくり

- 体成分分析装置インボディの導入
- ・筋肉量、脂肪量、基礎代謝量などが計測できる「体成分分析装置インボディ」を導入した。

■安全・安心な優しいまちづくり

- 通学路の安全点検
- ・8月31日に例年行っている通学路の安全点検を、警察、交通安全協会、県などと連携して実施した。指摘のあった危険箇所については、対応可能なものから改善を図る。

■未来につながるまちづくり

- 病後児保育事業
- ・9月1日から、「伊達市立梁川認定こども園」で病後児保育が利用できるようになった。
- GIGAスクール事業
- ・児童生徒1人1台のタブレット配備が6月末に完了し、授

業での活用が始まった。

●国見町公営塾事業

- ・「放課後教室ハル小学部」が新たに開塾し、地域おこし協力隊員5名のスタッフで運営している。小学校5、6年生40名が入塾している。中学1、2年生のコースは10月の開塾に向けて準備している。

■恵まれた資源を活かしたまちづくり

●企業進出

- ・マットレス製造業の「株式会社エアウィーヴ」が9月から一部操業を開始する。来年2月の増設施設完成後は、従業員60名程度で本格操業を始める。ふるさと納税返礼品に追加できるよう手続きを進めていく。

■相互理解と共感のあるまちづくり

●タウンミーティング

- ・「放課後塾ハル」に通う中学生の保護者や子育て世代、青年商工業者、高齢者、地域おこし協力隊、農業従事者など、町民との懇談で出された意見、要望を踏まえ、引き続き町政執行に生かしていく。

■町として生きるまちづくり

●移住・定住事業

- ・国見ニュータウン内に子育て世代用の定住促進住宅2棟4世帯分を建設するため、事業者を決定した。



選挙

国見町・桑折町有 北山組合議会議員選挙

任期満了に伴う国見町・
桑折町有北山組合議会議員
選挙（各地区から推薦され
た候補者を議会で決定）が
行われ、国見町から次の方
が当選されました。

第1選挙区（小坂）

一 條 善助氏

第2選挙区（泉田）

横 山 孝夫氏

第3選挙区（鳥取）

高 野 武志氏

第4選挙区（内谷）

菅 野 義昭氏

第5選挙区（藤田）

秦 富夫氏

第6選挙区（山崎）

高 橋 俊郎氏

第7選挙区（塚野目）

佐 藤 信成氏

※国見町・桑折町有北山
組合議会とは

国見町、桑折町の特定地
域が白石市小原地内の山
林一部を所有し、管理す
るための一部事務組合。
国見町、桑折町からの議
員12人で議会を構成。

人事

教育委員会委員の 任命に同意

令和3年9月30日任期満
了により、高橋幸子氏（藤
田）の再任に同意しました。

人権擁護委員 候補者の推薦

令和3年12月31日任期満
了により、畑善徳氏（藤田）、
佐藤勢津子氏（塚野目）、
佐藤ユキ子氏（森山）の推
薦を適任と認めました。

～8人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般
質問

9月定例会

議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	通学路の安全対策は	12
穴戸 武志	小・中学校におけるいじめへの対応は	13
	自転車保険の加入義務化を	
佐藤 定男	国見小、県北中の全国学力テストの結果は	14
	図書館の利用状況は	
山崎 健吉	パークゴルフ場の建設予定は	15
渡辺 勝弘	災害に対する住民意識を向上させるには	16
浅野 富男	イオンモール出店による町としての発展は望めるか	17
	洋式トイレへの改修予定は	
八巻喜治郎	新型コロナワクチンの接種状況は	18
蒲倉 孝	日渡交差点の歩車分離式信号機の検討は	19
	道の駅の防犯対策は大丈夫か	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

Q 通学路の安全対策は

A 県道の歩道整備は強く要望していく



松浦常雄議員

11箇所である。

問 危険とされた箇所はどこで、

次長 歩道が切れて、

県に要望している。維持管理で可能なものは建設課等に対応していく。

問 危険度の高い通学路の一つとして、

県道五十沢国見線の西大枝地内牛沢川から歩道未整備の区間がある。ここは、平成24年度に町が点検したときもかなり危険度が高い箇所と指摘されていた。

次長 平成25年には、交通

安全協会や、地元町内会から早期整備の要望が出されている。私も、一般質問で早期着工に向け質してきたが、着工されなかった。県にどのように要望してきたのか。

建設課長 通学路の危険箇所の一つとして、毎年、県の施設整備会議で町長自ら改善を要望している。管内の整備状況を見極めながら事業化に向けた準備を進めているのとこのことである。

問 は、危機意識が乏しいことの現れと言わざるを得ない。町は、この区間の子どもが通る時間帯の交通の状況をどのように把握しているのか。

次長 県道なので車の往来が激しい。季節によっては、雪などにより更に危険

問 子どもが通学する時間帯は、

梁川・五十沢方面や保原方面へ行く車がとても多い。さらに冬季に、積雪の多いときは、子どもたちは、車のわだちを歩いている。千葉県の事故の例からも安全対策を先延ばしして



歩道の未整備区間がある県道五十沢国見線

問 点検を踏まえた安全対策は、町道については町が実施し、県道については県へお願いをする。今回の質問を受けて町長自身が県へ出向き強く要望していく。

町長 通学路の安全点検を踏まえた安全対策は、町道については町が実施し、県道については県へお願いをする。今回の質問を受けて町長自身が県へ出向き強く要望していく。

問 危険とされた箇所はどこで、

次長 歩道が切れて、

県に要望している。維持管理で可能なものは建設課等で対応していく。

問 今年6月、千葉県内で児童5人が巻き込まれた交通事故を受けて、菅首相は、すべての通学路の総点検を文部科学大臣に指示したことを明らかにした。

町 はこれまでにどのように通学路の安全点検をしてきたのか。

次長 今年度は、8月31日に警察、

小学校、保原土木事務所、交通安全協会及び建設課と住民防災課が合同で行った。

問 今回の点検で危険箇所はどのくらいあると指摘されたのか。

次長 小学校から上は、25件で、そのうち通学路の危険箇所は、

危険とされた箇所はどこで、

歩道が切れて、

県に要望している。

維持管理で可能なものは

建設課等で対応していく。

Q 国見小、県北中の全国学力テストの結果は

A 各科目とも全国平均と同等のレベルである



佐藤定男議員

問

文部科学省は8月31日に全国

学力テストの結果を発表している。それによると、福島県は中3の数学の正答率が55%、小6の正答率が67%と全国平均を下回った。一方、国語については小・中学校ともに概ね全国平均の結果であった。

た。

国見小学校、県北中学校の成績結果はどうだったのか。

教育 次長

国見小学校の算数・国語、県北中学校の数学・国語の成績は、全ての科目において全国平均と同等のレベルであった。

問

今回の結果を踏まえ課題は何か。

教育長

説明が求められる記述式問題の正答率が低いことから要約・要旨を理解する力の育成を図る。このため家読と読書習慣の確立に取り組んでいく。

また正答率の低い子の底上げを図る必要がある。個別の指導や放課後の学習支援など、きめ細かな支援が必要と考えている。生活習慣の面では、スマートフォン使用の問題がある。東北大の先生の講演によると、スマホの

使い過ぎで学びの力はどうしても劣ってしまふ。勉強するときは手元におかず、勉強に集中することが学力向上に繋がっている。

図書館の利用状況は

問

昨年10月から図書室の運営形態が変わり図書館となった。前年と比較して過去1年間の貸出実績を問う。

生涯学習 課長

図書室としての年間の貸出冊数は1万4821冊、図書館へ移行後は1万5747冊と6%の伸びがあった。また他の図書館の蔵書の利用は45件の実績である。

問

「読む力は生きる力を養う」と元名誉館長の内池和子さんは仰っている。

より多くの人に読書を楽しくんでもらうための施策は何か。

教育長

図書館となった時に4つの基本的な運営方針を定めている。①子どもたちから大人までの読書活動の拠点、②利用者の課題を解決す



図書館となり利用者の増加が期待される

る情報の拠点、③子どもたちのための教育支援の拠点、④記憶を後世に伝えるアーカイブ拠点となる事である。今までの「図書館だより」の発行とLINEを通じての情報提供により利用者の増加に向けて啓発していく。

Q パークゴルフ場の建設予定は

A 町民の意見を直接聞き総合的に判断する

ング等で直接町民の意見を受け止め、総合的に判断しパークゴルフ場も含め公共施設の在り方について議論して行きたい。

問

平成29年にパークゴルフの建設要望があったがその検討について伺う。

生涯学習課 課長

当時検討委員会が設置されたが財政問題などで進んでいない。当時の状況からは環境が変化しており広域連携による共同利用を検討すべきと考えている。

問

伊達市と飯館村にパークゴルフ場ができた。高齢者の運動不足・生きがい対策・医療費の軽減などの観点から、当町に對し、関係団体から再三の要望があったと聞いている。

前町長は、用地問題と財源問題が解決すれば検討すると答弁された。

町長

私見として伺っております。町の立場としては、当時検討委員会で検討されたことは、現在ある施設の維持管理をするのに大変な資金が必要となることからパークゴルフ場を新設する余力はないとのことであった。検討の過程を報告してこなかったことについては行政の怠慢であり申し訳なかった。今後はタウンミーティ

問

町民プールも平成29年から再開されていないが、今後の再開について伺う。

生涯学習課 課長

町民プールの再開には多額の改修費用が掛かることから極めて厳しい状況である。

問

学校との調整もあると思うが、小・中学校の時間外に使用させてもらうことはできないのか。

生涯学習課 課長

学校のプール利用も検討したが管理上の問題から町民に開放するのは厳しいと考えている。

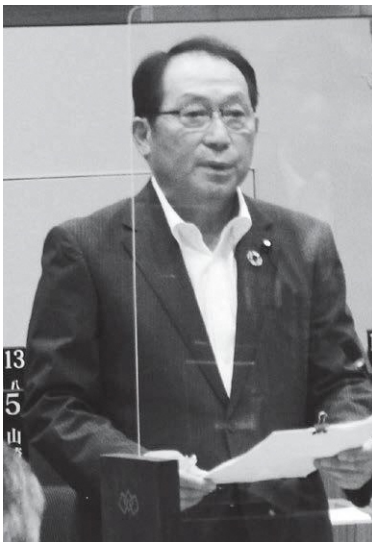
問

県は平成22年にスポーツ推進基本計画を策定し、総合型地域スポーツクラブの創設を市町村に推奨してきた。

現在40市町村に80のクラブが設立され活動しているが、当町は未設立である。その理由

生涯学習課 課長

今年2月に、国見町総合型地域スポーツクラブ設立検討会を立ち上げクラブの設置可能性や将来像を議論している。



山崎健吉議員



パークゴルフを楽しむ町民の方

Q 災害に対する住民意識を向上させるには

A 自主防災会の中で意識をして自助・共助の考えを根づかせることが必要である

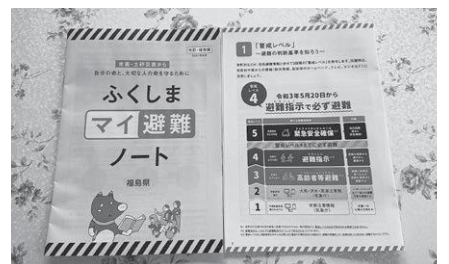


渡辺勝弘議員

いては、住民異動情報に基づき、名簿の作成管理業務を委託している町社会福祉協議会のコーディネートに依頼して、名簿の更新を随時行っている。

問 正確な情報で「個別避難計画」、「避難行動要支援者名簿」を更新する上で、避難行動要支援者のマイナンバー登録の義務化を推し進めるべきではないか。

対象者の把握や名簿の更新についてはスムーズに行われているので、マイナンバー登録の必要性はない。



各世帯に配布された「ふくしまマイ避難ノート」

問

今年6月の災害対策基本法改正により、「避難勧告」が廃止され、「避難指示」で必ず避難すると変更になったが、今後周知していく必要があると考えるが。

課長

避難勧告が廃止され、避難指示となり今

後は警戒レベル4の避難指示で、全員が危険な場所から避難することとなった。町民に定着するように今後も積極的・継続的に周知していく。

問

町民にどのような方法で周知徹底していくのか。

問

平成25年の法改正により「避難行動要支援者名簿」の作成が義務化され、普及されているが、名簿の更新方法はどのようになっているのか。

福祉課長

避難行動要支援者の情報につ

問

内閣府は災害難行動要支援者名簿」が十分に生かされておらず、高齢者の被害が多いことから「個別避難計画」の作成が自治体の努力義務とされたが、町ではどのように取り組んでいるのか。

福祉課長

個別計画の希望のある方は緊急の高い方から町社会福祉協議会のコーディネートが個別訪問して計画の作成を進めている。

作成している方は、年1回民生児童委員が計画の内容や情報の変更がないか確認して更新している。

問

自助・共助・公助の精神をもって行動するには、町民一人一人の自覚が必要となる。地区により温度差がある自主防災会を一体化するためには、防災訓練も含め、どのように防災対策を進めていくのか。

福祉課長

命を守る行動をするためには、日頃からの防災に対する意識付け

町長

命を大切に、誰もが幸せに暮らせるまちづくりの本理念がある。それらにのっとって町の施策展開をしていく。

Q イオンモール出店による町としての発展は望めるか

A 広域連携で町のビジョンに基づき町勢進展を図る

なものだったか。

産業振興課長 「引き続き抑制は必要だが、ある程度の緩和も必要」との項目を選択した。

わいが出来るかとされる意見もあるが、このことによって自治体としての発展は望めるか。

産業振興課長 人口減少時代は今、

洋式トイレへの改修予定は

イオンモールに依存することなく、かつぶれることなく、町のビジョンに基づき町勢進展を図りたい。

問 公共施設は高齢者も利用することが多く、足腰が弱くなっている方もいる。今後、洋式化への改修予定はあるか。

総務課長 現時点では明確な計画はない。公共施設整備計画の中で、廃止すべきものも出てくると思うので、総合的に検討する。必要最小限使えるものは改修も当然必要となるが、体育館など常時使う人がいれば多目的トイレ兼用といった改修の方法も検討しなくてはならない。

問 市町村からの回答では、課長答弁の項が54・2%で最も多い。商工団体のらの回答では「抑制の必要はない」は0%で、「引き続き抑制」は55・5%で最も多く、商工団体の方々は危惧していると考えられるが。

産業振興課長 大型店の出店については厳しい捉え方である。この部分も十分踏まえて近隣市町と連携をしながら地域貢献策について考えていく。

問 大型店の出店で人流が構築され、にぎ

各市町村が生き残りに関する施策を展開しているが、同時並行で広域的な連携も大変重要な取り組みと言える。イオンモールの出店に伴い、地域への人流がさらに増加し、県北地域としてのにぎわいが構築されることは広域連携の観点から望ましい事と思う。町としては

問 産業振興課長

影響はゼロではない

アンケートには「時代の流れ

イオンモールの出店計画が示されたがこの間、商工会員に対しアンケート調査を実施し、客足が遠のくのではないかと言う回答もあったが、商店が衰退することはないか。

と考える。しかしこれまで以上に県北地域を訪れる方が増えることも十分に想定されるので各商店がオンラインワンの魅力を情報発信できる仕組みを商工会とともに構築したい。

問 産業振興課長

後継者がいる、いない等を含めて様々な条件があり、一概には何とも言えない。イオンモールに来られた方々をいかに当町へ誘客出来るかというところがポイントと考える。

問 産業振興課長

大型店の出店について

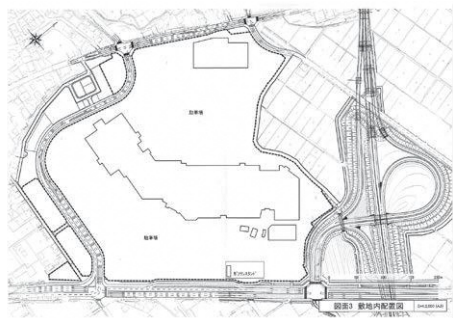


浅野富男議員

問 平成30年に市町村に対して県

が行った「郊外への大型店の立地を抑制することについてどう考えるか」というアンケートへの回答はどのよう

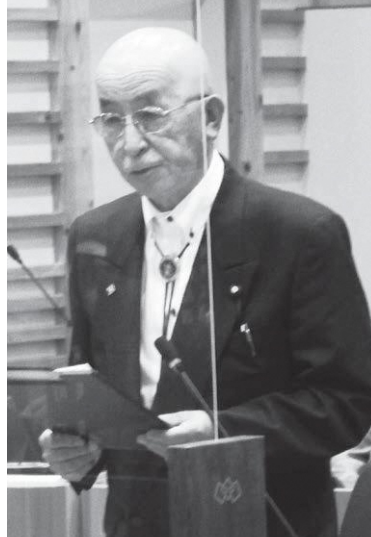
大型店の出店で人流が構築され、にぎ



公表されたイオンモールの平面図

Q 新型コロナウイルスワクチンの接種状況は

A 順調に進んでいる 町民の安全安心のワクチン接種を最後まで取り組む



八巻喜治郎議員

問 新型コロナウイルス感染症に対する町の対応策は。

ほけん 課長 町では、防災無線による注意喚起、各戸配布によるお知らせの他、福島県緊急対策と併せて産業振興課を中心とした酒類提供する飲食店への見回りなどの対応を行っている。

問 今年度、受験高校生への対応策は。

ほけん 課長 中学生に公立藤田総合病院で個別接種を開始している。高校生については9月8日から先行予約できるように対応している。

問 幼・小・中学校などの教育施設や公営塾の換気装置は適切に稼働しているか。

ほけん 課長 県の基本的な対策としての要請もあり、教室では空気清浄機を稼働させ、窓の解放と換気扇の稼働をさせて対応している。現在は、小・中学校の全ての教室で稼働している。放課後塾ハルでは、1時間ごとに窓の換気を行うなど注意して、換気に取り組んでいる。

問 新型コロナウイルス感染者の療養方針の見直しにより、福島

県の医療体制は、どうなっているのか。

ほけん 課長 は、福島県感染者は原則として入院治療とする方針には変わりはない。県北地域においては、専用病床を98床から134床、宿泊療養施設は60室から160室へ増強している。公立藤田総合病院でも増強して対応している。

問 40歳以上の方々へのアストラゼネカ製ワクチン活用は、

ほけん 課長 アストラゼネカ製ワクチンの接種機会が限られるため、町での影響は限定的である。

問 町では、ワクチン接種の進捗状況について、どのように考えているのか。

ほけん 課長 当町のワクチン接種は他の自治体と比較しても順調に進んでいる。町民や医療機関の皆様との理解と協力の賜であると厚く感謝申し上げたい。引き続き町民の安全・安心のワクチン接種を最後まで取り組んでいく。

問 学生等で県外居住者へのワクチン接種はどのように実施するのか。

ほけん 課長 滞在先の市町村に町が作成した接種券と住所外接種届を提出すれば、滞在地でも接種可能になっている。

問 政府は3回目のワクチン接種を検討しているが、町

ほけん 課長 3回目の接種を行うためには厚生労働大臣の指示の改定が必要になる。しかし、ワクチンの供給が不安定であるため、まずは未接種の方への接種をしっかりと進めたい。



ワクチン接種を受ける町民

Q 日渡交差点の歩車分離式信号機の検討は

A 交通安全協会等の意見を踏まえ警察との協議を進めたい

問 3月定例会にて質問した日渡

の見解である。

交差点の歩車分離式信号機導入について、その後の対応及び進捗状況について伺う。

問 以前の歩車分離式信号機と違い、大原医療センター入口交差点などに設置されている信号機は、歩行者がボタンを押すことで歩車分離になり、歩行者だけが通行できる信号機もある。

建設課長 歩行者専用現示式という信号機のことだと思う。今後、ご意見等も含め現状と課題を認識し警察との協議を進めていく。

建設課長 警察と継続して協議を行っており、現状では歩車分離式信号機導入等の必要性が見いだせない

再度、協議して要望は上げられないか。

建設課長 歩行者専用現示式という信号機のことだと思う。今後、ご意見等も含め現状と課題を認識し警察との協議を進めていく。

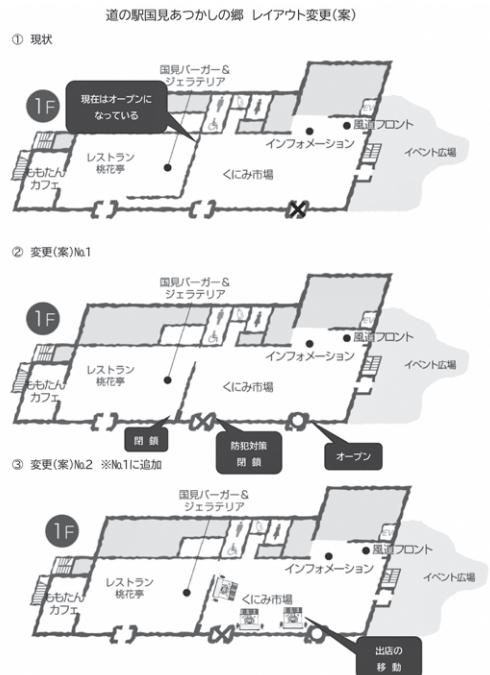
道の駅の防犯対策は大丈夫か

問 道の駅国見あつかしの郷は8月の連休中も大変な賑わいで、福島市の方々からいつも混んでいてすばらしい道の駅だねとお褒めの言葉をいただいている。

産業振興課長 盗難等の観点から、施設内のレイアウト変更に関するご提言感謝する。いただいたご意見を指定管理者である国見まちづくり株式会社にしつかりとお伝えをさせていただきます。

しかし、その混雑から犯罪が発生する可能性もある。防犯対策の観点から、レイアウトの変更が出来ないか伺う。分かりやすくするため、イラストを添付させていただいた。

①現状
②変更(案)No.1
③変更(案)No.2 ※No.1に追加



道の駅国見あつかしの郷 レイアウト変更(案)

① 現状

② 変更(案)No.1

③ 変更(案)No.2 ※No.1に追加

問 国見まちづくり株式会社へ伝えていただき、結果の報告はいただけるか。

産業振興課長 まずは、会社で提言

産業振興課長 来年4月からの第二期指定管理者の選定について第三者委員会を立ち上げており、12月の議会に議案を上げたいと考えているので、ある程度大幅なレイアウト変更となる場合は、12月以降になることをご承知お願いたい。

問 No.2 ③変更(案) 二つ目の案として、

それ、会社で協議した結果を町へいただいた上で、報告したいと考えている。

問 No.2 ③変更(案) 二つ目の案として、

二つ目の案として、

意見書

9月定例会では意見書1件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ提出しました。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応を迫られていることから、地方税財源の充実が不可欠であり、確実に実現されるよう、国に強く要望する。

可決

一部事務組合報告

※一部事務組合とは
※一部事務組合とは、複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

装備被服の購入と救急自動車の更新

伊達地方消防組合議会

7月26日、第3回組合議会臨時会が開催されました。

提出された議案は繰越明許費の報告1件、装備被服と高規格救急自動車の動産の取得についての議案2件、財政調整基金積立金やアスベスト含有調査委託料の歳出等での令和3年度補正予算の議案1件が審議され、すべて原案のとおり可決されました。

(報告者 渡辺勝弘)

令和2年度決算を認定

福島地方水道用水供給企業団議会

(自然の水を浄化し、水道水として国見町、福島市、桑折町など3市3町に提供する事務組合)

8月25日、企業団議会定例会が開催され、繰越明許費についての報告1件と、令和2年度決算認定についての審議が行われ、原案のとおり認定されました。

令和2年度決算認定

◆収益的収支決算額

収入 46億3577万円

支出 49億5301万円

◆資本的収支決算額

収入 0円

支出 19億9302万円

(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金などで補いました)

(報告者 東海林一樹)

議会行政調査

桑折町・川俣町

7月28日に議員定数及び議員報酬について行政調査を行いました。

議会は住民を代表し、住民の意思を反映させるとともに行政執行の監視をすることを念頭に置き、議員として住民に見える議員活動を積極的に

押し進めが必要であります。

「議員定数」「議員報酬」については行政調査を参考に議員改革推進会議にて住民の意見を聞き反映しながら審議を重ねて決定すべきと考えます。



熱心に聴き入る議員



9月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんのご意見をいただきました。(抜粋)

- マイクのせいか良く聞こえない。(80代・男性)
- 議員との意見交換は今年はやっていないと思う。コロナの影響もあると思うが、もう少し町民の話を拾ってもらいたい。(女性)
- いじめについて、自分の体験も取り入れていてよかったと思う。(70代・男性)
- 今回は学校教育、生涯学習についての質問が多かった。コロナや人口減少時代で関心が高くなっていると感じた。(80代・男性)



一般質問を傍聴する皆さん

議会の動き

9月7日 ~17日	9月議会定例会
9月7日	総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
9月8日	広報常任委員会
9月10日	議案調査会(～15日)
9月15日	全員協議会、議会改革推進会議
9月17日	議会運営委員会、全員協議会、総務文教常任委員会
9月20日	市町村対抗軟式野球試合応援(須賀川市)
9月27日	例月出納検査
	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
9月28日	広報常任委員会
10月3日	第8回市町村対抗ソフトボール大会国見町チーム結団式
10月6日	広報常任委員会、福島圏域議会議長連携推進協議会(オンライン会議)
10月12日	広報常任委員会
10月13日	表彰審査会
10月14日	総務文教・産業建設合同常任委員会
10月20日	町村議会議員研修会(福島市)
10月21日	県への要望活動(福島市)
10月22日	議員懇談会、議会改革推進会議
10月23日	市町村対抗ソフトボール試合応援(相馬市)
10月25日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
10月26日	例月出納検査、公立藤田病院組合議会定例会

次の定例会は12月上旬に 開催予定です

議会を傍聴される皆様へ

新型コロナウイルス感染症予防のため、本会議を傍聴される際は、次のことにご協力をお願いいたします。

傍聴者が多い場合は入場を制限させていただきますので、ご了承ください。

1. マスクの着用と入場時の手指消毒をお願いいたします。
2. 入場時に検温をさせていただきます。
3. 発熱など体調がすぐれない場合は、傍聴をご遠慮ください。

議会本会議はインターネットでライブ配信しておりますので、ぜひご利用ください。

<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>

福島県国見町議会 中継

検索



詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 585-3295 (直通)

安心できる医療体制を

もう昨年のことになりますが、小学校低学年の息子が学校の休み時間に腕を骨折するけがをしました。学校から連絡してもらいすぐに公立藤田総合病院に行きましたが、受診できず、結局町外の医療機関を受診しました。泣く息子を一刻も早く治療していただきたいと思ったのですが、受診できないことに驚きを受けました。

受診した時間帯や先生の不在など、病院側も受け入れたくても受け入れられない理由があったのだと思います。

しかし、国見町と近隣市町で構成される公立病院なので、

地域住民とりわけ子どもが、受診したい時にすぐに受診できない体制は改善する必要があるのではないかと思います。

新町長になってから、学校給食費の無償化や出産時祝金の給付、公営塾の開講など、子育て世代にとってもありがたい支援があります。少子高齢化が加速する中、子どもたちは国見町の宝であり希望だと思えますので、子育てがしやすい環境、働ける職場、もしもの時の医療体制など、一筋縄では解けない問題だとは思いますが、若い世代を引き寄せられるような施策を応援していきたいと思えます。



八巻 洋さん
(徳江北町内会)

2年度の事業の成果を調査

9月定例会会期中の9月10日、令和2年度の決算認定についての議案調査の一環として、令和2年度中に行われた主な事業の成果を確認する為、議員全員で現地調査を行いました。調査事業は次のとおりです。

- ① 農用地等災害復旧事業
- ② 大枝排水機場水位計等機器交換工事(繰越)
- ③ 社会資本整備総合交付金事業(繰越)
- ④ 阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園建築工事
- ⑤ 除染対策事業
- ⑥ 森江野方部第2号残置物搬出業務委託
- ⑦ 社会資本整備総合交付金事業
- ⑧ 町道116号南・別当線道路改良舗装工事(繰越)

参加議
員の中
からは、活
発な質問
と意見が
出されま
した。



整備が完了したあつかし千年公園を確認

9月議会定例会は、7日から17日の11日間の日程で行われました。

世の中では新型コロナウイルスの第五波により、福島県が「まん延防止等重点措置の実施区域」となり、飲食店はじめとする多くの企業に更なる規制が発令されました。

ワクチン接種は他の町村より進んでおりますが、ワクチンが届かず予約出来ない状況も出ております。一刻も早く2回目の接種が出来るよう町としても国に要望しているところです。

今後も感染防止対策を徹底していただき、うつらない・うつさない行動をお願いいたします。

(蒲倉 孝)

発行責任者

議長 東海林 一樹

広報常任委員会

委員長 渡辺 勝弘

副委員長 蒲倉 孝

委員 八島 博正

同 小林 聖治

同 山崎 健吉

同 八巻喜治郎

